

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 日本製麻株式会社 上場取引所 東
コード番号 3306 URL <https://www.nihonseima.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 貴伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 米澤 勝 (TEL) 078-332-8251
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,334	16.1	305	85.6	321	80.3	127	34.0
2023年3月期	3,733	18.5	164	187.0	178	139.2	95	97.6

(注) 包括利益 2024年3月期 396百万円(21.2%) 2023年3月期 326百万円(553.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	34.89	—	7.3	7.4	7.1
2023年3月期	26.04	—	6.1	4.6	4.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 0百万円 2023年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,623	2,880	40.0	504.34
2023年3月期	4,048	2,511	40.6	448.52

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,848百万円 2023年3月期 1,644百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	273	△53	△71	1,036
2023年3月期	125	△78	△33	860

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	—	—	3.00	3.00	10	11.5	0.7
2024年3月期	—	—	—	4.00	4.00	14	11.4	0.8
2025年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00		11.1	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,932	△7.6	99	△25.7	101	△29.4	54	△0.7	14.73
通期	3,886	△10.3	226	△26.1	226	△29.8	132	3.2	36.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	3,673,320株	2023年3月期	3,673,320株
② 期末自己株式数	2024年3月期	7,334株	2023年3月期	7,168株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	3,666,062株	2023年3月期	3,666,192株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,358	1.8	85	△4.0	98	13.4	60	6.6
2023年3月期	2,317	7.6	89	38.3	86	46.0	56	31.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	16.51		—					
2023年3月期	15.49		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,227	1,028	46.2	280.60
2023年3月期	2,124	964	45.4	263.15

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,028百万円 2023年3月期 964百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,276	8.4	53	△8.1	46	50.8	12.55
通 期	2,601	10.3	130	32.6	115	90.0	31.37

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的な一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、実質賃金の低下による個人消費の回復の動きに足踏みが見られる中、新型コロナウイルス感染症から社会活動が正常化したことにより企業収益の改善傾向がみられ、緩やかな回復傾向が続くことが期待されます。

一方、欧米では物価高騰に伴う金融引締めにより経済成長が鈍化し、不動産市場の停滞による中国経済の低迷がみられるなど、海外景気の下押しリスクに注意する必要があります。また、長期化するウクライナ情勢や中東地域をめぐる情勢悪化の影響等によるエネルギー価格の高止まり、原材料価格の高騰などに加え、為替相場の変動など依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと当社グループにおいては、産業資材事業は円安の影響による海外取引コスト及び物流費に注視し、需要量の把握に努めながら顧客ニーズに沿う形で販売・購入交渉を行いました。マット事業は海外を中心に既存先に加えて新たな取引先との製品開発を進めました。食品事業は生産コストが上昇するなか採算性の見直しに取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は4,334百万円（前期比16.1%増）、営業利益305百万円（前期比85.6%増）、経常利益321百万円（前期比80.3%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益127百万円（前期比34.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業資材事業)

黄麻商品は、コロナ禍において各取引先が在庫確保に動いた影響で、未だ在庫調整局面にあります。また円安が進み、輸入販売においては具体的な取引について調整を要する状況が続きました。包装資材は値上げ交渉の遅れが収益を圧迫しました。また、人材採用を積極的に行った結果、売上高は540百万円と前連結会計年度と比べ96百万円（15.2%）の減収、営業損失は20百万円（前期は15百万円の営業利益）となりました。

(マット事業)

自動車用フロアマットの販売は、日本国内では新規受注車両用の販売が始まり、海外では新規顧客への販売及びBEV車両向け製品が好調に推移し、それぞれ出荷数量を伸ばしました。また生産の合理化・経費の削減により、売上高は2,470百万円と前連結会計年度と比べて681百万円（38.1%）の増収、営業利益は271百万円と前連結会計年度と比べて184百万円（210.9%）の増益となりました。

(食品事業)

エネルギーや原材料価格の高騰、物流コストの増加に伴い、価格転嫁を試みるものの依然として厳しい状況が続いています。パスタは、飲食店向け業務用商品が太麺を中心に伸びましたが、家庭用商品の販売は減少となり、全体として売上は減収となりました。レトルト商品は、個食化・利便性ニーズの高まりから主力のカレー、パスタソースが順調に伸びました。その結果、売上高は1,320百万円と前連結会計年度と比べて16百万円（1.3%）の増収、営業利益は52百万円と前連結会計年度と比べて7百万円（12.5%）の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は4,623百万円、前連結会計年度末と比較して575百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加215百万円、売掛金の増加117百万円、商品及び製品の増加50百万円、原材料及び貯蔵品の増加58百万円、仕掛品の増加46百万円があったためであります。

当連結会計年度末における負債は1,743百万円、前連結会計年度末と比較して206百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の減少104百万円があったものの、支払手形及び買掛金の増加170百万円、短期借入金の増加120百万円、繰延税金負債の増加28百万円があったためであります。

当連結会計年度末における純資産は2,880百万円、前連結会計年度末と比較して368百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加116百万円、非支配株主持分の増加164百万円、為替換算調整勘定の増加73百万円であります。この結果、自己資本比率は40.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ176百万円増加し1,036百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ148百万円増加し273百万円の収入となりました。これは、主として、売上債権の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ25百万円増加し、53百万円の支出となりました。これは、主として、投資有価証券の売却による収入と定期預金の払戻による収入の減少があったものの、定期預金の預入による支出が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ37百万円減少し、71百万円の支出となりました。これは、主として短期借入金の増加があったものの、長期借入による収入が減少したためであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢の不安定化によるエネルギー価格及び原材料価格の高騰に伴う物価上昇、また金利の上昇や為替相場の変動など、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループは第94期に策定した「新中期経営計画」に基づき、新市場の開拓及び新規商品の開発などを行うとともに、取引の利益率向上を強化していくことで、業績伸長を図ってまいります。

次期事業年度は、売上高3,886百万円、営業利益226百万円、経常利益226百万円、親会社株主に帰属する当期純利益132百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,904	1,501,675
受取手形	17,388	31,293
売掛金	577,924	695,291
商品及び製品	224,233	275,177
仕掛品	244,869	291,238
原材料及び貯蔵品	310,136	368,694
その他	42,058	42,503
貸倒引当金	△689	△749
流動資産合計	2,701,827	3,205,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	186,345	176,736
機械装置及び運搬具（純額）	57,590	64,331
土地	829,345	860,995
リース資産（純額）	2,961	-
建設仮勘定	4,839	14,665
その他（純額）	29,237	35,379
有形固定資産合計	1,110,320	1,152,107
無形固定資産		
ソフトウェア	5,924	5,015
リース資産	3,150	5,746
その他	20,990	24,046
無形固定資産合計	30,065	34,808
投資その他の資産		
投資有価証券	121,819	136,238
関係会社出資金	12,614	11,903
長期貸付金	5,900	5,900
繰延税金資産	41,992	55,126
その他	25,932	22,144
貸倒引当金	△2,225	-
投資その他の資産合計	206,033	231,314
固定資産合計	1,346,418	1,418,230
資産合計	4,048,246	4,623,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,577	468,627
短期借入金	30,000	150,000
1年内償還予定の社債	35,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	166,967	150,199
リース債務	7,489	2,302
未払法人税等	1,684	29,795
賞与引当金	27,290	23,352
その他	161,845	186,025
流動負債合計	728,855	1,170,301
固定負債		
社債	230,000	70,000
長期借入金	306,449	202,080
リース債務	1,157	4,007
繰延税金負債	41,263	69,963
退職給付に係る負債	227,652	225,348
長期預り保証金	1,500	1,500
固定負債合計	808,022	572,899
負債合計	1,536,878	1,743,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	564,343	564,343
利益剰余金	847,726	964,649
自己株式	△5,438	△5,561
株主資本合計	1,506,631	1,623,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,797	△8,280
為替換算調整勘定	160,525	233,760
その他の包括利益累計額合計	137,728	225,480
非支配株主持分	867,008	1,031,242
純資産合計	2,511,368	2,880,154
負債純資産合計	4,048,246	4,623,355

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,733,311	4,334,457
売上原価	2,834,992	3,289,124
売上総利益	898,318	1,045,333
販売費及び一般管理費	733,517	739,516
営業利益	164,800	305,817
営業外収益		
受取利息	1,792	5,550
受取配当金	4,603	4,104
持分法による投資利益	740	121
為替差益	12,560	12,617
新型コロナウイルス感染症に係る助成金	1,890	-
雑収入	5,722	6,125
営業外収益合計	27,309	28,520
営業外費用		
支払利息	7,479	6,178
社債発行費	2,057	-
支払保証料	2,242	2,131
リース解約損	-	2,066
雑損失	1,861	2,185
営業外費用合計	13,640	12,561
経常利益	178,469	321,776
特別利益		
固定資産売却益	245	-
会員権売却益	-	15
特別利益合計	245	15
特別損失		
固定資産除却損	687	-
投資有価証券売却損	-	415
特別調査費用	-	10,813
特別損失合計	687	11,229
税金等調整前当期純利益	178,027	310,563
法人税、住民税及び事業税	10,430	59,284
法人税等調整額	16,725	19,313
法人税等合計	27,155	78,597
当期純利益	150,871	231,966
非支配株主に帰属する当期純利益	55,398	104,044
親会社株主に帰属する当期純利益	95,473	127,921

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	150,871	231,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,354	14,517
為替換算調整勘定	154,740	149,610
持分法適用会社に対する持分相当額	963	75
その他の包括利益合計	176,059	164,203
包括利益	326,930	396,169
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	192,459	215,674
非支配株主に係る包括利益	134,470	180,495

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	763,252	△5,393	1,422,201
当期変動額					
剰余金の配当			△10,998		△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益			95,473		95,473
自己株式の取得				△44	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	84,474	△44	84,430
当期末残高	100,000	564,343	847,726	△5,438	1,506,631

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△43,152	83,893	40,741	734,422	2,197,366
当期変動額					
剰余金の配当					△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益					95,473
自己株式の取得					△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,354	76,631	96,986	132,585	229,571
当期変動額合計	20,354	76,631	96,986	132,585	314,001
当期末残高	△22,797	160,525	137,728	867,008	2,511,368

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	564,343	847,726	△5,438	1,506,631
当期変動額					
剰余金の配当			△10,998		△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益			127,921		127,921
自己株式の取得				△123	△123
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	116,923	△123	116,799
当期末残高	100,000	564,343	964,649	△5,561	1,623,431

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△22,797	160,525	137,728	867,008	2,511,368
当期変動額					
剰余金の配当					△10,998
親会社株主に帰属する当期純利益					127,921
自己株式の取得					△123
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,517	73,235	87,752	164,234	251,987
当期変動額合計	14,517	73,235	87,752	164,234	368,786
当期末残高	△8,280	233,760	225,480	1,031,242	2,880,154

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	178,027	310,563
減価償却費	52,568	53,707
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	415
持分法による投資損益 (△は益)	△527	△121
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	435	△2,225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,490	△4,035
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,158	△19,768
受取利息及び受取配当金	△6,396	△9,655
支払利息	7,479	6,178
固定資産売却損益 (△は益)	△245	-
固定資産除却損	687	-
売上債権の増減額 (△は増加)	14,649	△109,091
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△152,525	△105,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,453	161,048
その他	30,403	20,933
小計	137,752	302,863
利息及び配当金の受取額	6,396	9,654
利息の支払額	△7,546	△6,306
法人税等の支払額	△10,736	△32,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,866	273,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,535	△50,796
有形固定資産の売却による収入	245	-
投資有価証券の取得による支出	△726	△727
投資有価証券の売却による収入	363,701	450
貸付けによる支出	△5,900	0
会員権の売却による収入	-	2,600
定期預金の預入による支出	△509,545	△2,605
定期預金の払戻による収入	95,744	-
その他	△7,171	△2,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,187	△53,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	120,000
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△186,469	△171,137
社債の発行による収入	67,942	-
社債の償還による支出	△95,000	△35,000
配当金の支払額	△10,372	△11,577
非支配株主への配当金の支払額	△1,885	△16,261
リース債務の返済による支出	△8,077	△7,440
その他	△44	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,906	△71,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,843	27,450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	49,616	176,692
現金及び現金同等物の期首残高	810,463	860,080
現金及び現金同等物の期末残高	860,080	1,036,773

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社では事業部を基礎とした製品・サービス別の特性等に基づくセグメントから構成されており、「産業資材事業」、「マット事業」、「食品事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「産業資材事業」は主として黄麻製品、大型包装資材等の販売事業を行っております。「マット事業」は自動車用フロアマット等の製造販売事業を行っております。「食品事業」はスパゲッチ、マカロニ、レトルトソース等の製造販売事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用する会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	—	3,730,261
その他の収益	—	—	—	—	3,049	3,049
外部顧客への売上高	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	3,049	3,733,311
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	637,042	1,789,385	1,303,833	3,730,261	3,049	3,733,311
セグメント利益	15,349	87,285	59,752	162,387	2,413	164,800

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	540,307	2,470,583	1,320,670	4,331,562	—	4,331,562
その他の収益	—	—	—	—	2,895	2,895
外部顧客への売上高	540,307	2,470,583	1,320,670	4,331,562	2,895	4,334,457
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	540,307	2,470,583	1,320,670	4,331,562	2,895	4,334,457
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△20,064	271,397	52,265	303,597	2,219	305,817

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。

2. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額 (円)	448.52	504.34
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	2,511,368	2,880,154
普通株式に係る純資産額 (千円)	1,644,360	1,848,912
差額の主な内訳 非支配株主持分 (千円)	867,008	1,031,242
普通株式の発行済株式数 (千株)	3,673	3,673
普通株式の自己株式数 (千株)	7	7
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	3,666	3,665

項 目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益 (円)	26.04	34.89
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	95,473	127,921
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	95,473	127,921
普通株式の期中平均株式数 (千株)	3,666	3,666

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません

② その他の役員の変動 (2024年6月27日付予定)

1. 新任取締役候補

取締役 高橋 賢作 (現 上席執行役員ボルカノ食品事業部長)

2. 退任予定取締役

取締役(監査等委員) 黒田 正敏